

今本 繁先生 プロフィール



東京工科大学工学部機械制御工学科卒業後、ボランティア活動に従事し、心理専門職を目指して広島大学や筑波大学の研究生を経て、筑波大学大学院博士課程心身障害学研究課に入学し行動療法の大家である小林重雄教授に師事する。当大学で修士号取得後は、知的障害者通所施設(社)大野城すばる園(野口幸弘園長、現西南学院大学教授)にて研究活動と同時に非常勤指導員として勤務。国立肥前療養所(現、肥前精神医療センター)にて心理療法士として勤務後、ウェスタンミシガン大学行動分析学夏期研修、ノースカロライナ大学 TEACCH 部で1年間のインターン研修を経験。帰国後、西南学院大学に専任講師として4年間勤務した後退職。2003年に佐賀のNPO 法人それいゆがボンディ博士とフロスト女史を日本に始めて招聘してワークショップを開催した。招聘事業に関わり彼らと行動を共にして実践を開始した。2006年5月に PECS (絵カード交換式コミュニケーションシステム)の普及を目指して会社を設立し、2015年6月後進に事業を譲り退職。2015年6月に ABC 研究所を立ち上げ 2017年2月に合同会社に法人化。フリーの心理臨床家(臨床心理士登録番号 7664 号)として活動を開始。個別相談、講演会、研修会開催、学校や施設のコンサルテーションを行っている。2025年、横浜国立大学の渡部匡隆教授の指導の下、博士号を取得(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科乙第 118 号)

【主な著書】

自分を変えたい人のための ABC モデル—教育・福祉・医療職を目指す人の応用行動分析学 (ABA)

ポジティブな行動支援—看護・福祉・教育職を目指す人の ABA 入門 ふくろう出版